

会長、各長挨拶、及び今年度の活動報告

保護者の会 会長 原口るみ

保護者の皆様におかれましては、1年間保護者の会の活動にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。令和5年度は、園のさまざまな活動がコロナ禍以前の形に戻り、嬉しい1年でした。保護者の会主催行事である、子どもまつり・おもちゃバザー・おもちつきも、3年ぶりの規模・形式での開催となり、役員一同、手探りではございましたが、工夫と協力の元、一年間取り組んで参りました。

特に、毎年課題である役員負担軽減については、日々お忙しい保護者の皆様のどなたにでも役員を引き受けていただけるよう、知恵を出し合い、検討を重ねてまいりました。次年度に向けた主なチャレンジは以下の通りです。

- ・ 役員体制の見直し：詳細は議事をご確認の上、ご承認いただければ幸いです。
- ・ おもちつきの廃止：おもちつきの実施には、もちつき機の試運転を2日間行う必要があり、多くの役員に負担が生じること、また、試運転2回と本番で合計20kg以上のもち米を廃棄することなどを総合的に判断し、次年度はおもちつきを廃止することといたしました。保護者の会主催行事の内容につきましては、総会議事ではないため、ご報告となりますが、ご理解をいただければ幸いです。

役員活動をしている折々に「一人の手」という歌が思い起こされました。「一人の小さな手 何もできないけど それでも みんなの手と手をあわせれば 何かできる」、「一人の小さな目 何も見えないけど それでも みんなの瞳でみつめれば 何か見える」、縁あって同じ幼稚園に通うことになった皆様と、手を、目を合わせて子どもたちのために、何かができる、その喜びを共に分かち合えたことに、心から感謝申し上げます。

来年度の保護者の会の活動も、神様に守られて、喜びに満ちたものとなりますよう、お祈りしています。

最後になりますが、園長先生、近江谷先生を始めとする先生方には、今年度も保護者の会からのたくさんのお要望にお応えいただきありがとうございました。どうぞ来年度も保護者の会をよろしくお願ひ致します。

はなびら編集委員 委員長 青山奈央美

本年度、はなびら編集委員会の委員長を務めさせていただきました青山です。

コロナ禍での生活面の制約も少しずつ緩み、園行事や活動が戻ってきた今年度のはなびらは第6号となり、とても歴史のある刊行物であることの重みを感じながら作成がスタートしました。「どんな時でもやさしい気持ちを持った子どもたちの未来が、カラフルで希望に満ちたものであればいいな」という願いを込めて、今年度のテーマを「まあいいところ カラフル未来」と掲げ、はなびら委員一同、明るい紙面作りを目指して心を込めて活動して参りました。

はなびらの冊子には、クラス集合写真や担任の先生から子どもたちに向けたメッセージ、課外活動をはじめとする幼稚園での活動の紹介などを盛り込みました。みなさまに楽しんでもらえるような内容になっておりますと幸いです。

作成にあたり、川田園長先生をはじめ、教職員の皆様、保護者の皆様、子ども達にたくさんのご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

卒園対策委員 委員長 栗原りえこ

本年度、卒園対策委員長を務めさせていただきました、ゆり組栗原です。

例年ですと「卒園のつどい（謝恩会）」を中心とした活動となりますが、行事自体が廃止となったため、主な活動はお世話になった先生方と卒園児への記念品準備、卒園記念動画制作となりました。保護者の会の皆様と共に様々な行事のお手伝いもしてきました。

1学期、2学期、3学期と幼稚園のご協力の元、各イベントの撮影、卒園児全員へのインタビューを行いました。

また年長保護者の皆様からは、お子様の画像のご提供などたくさんのご協力本当にありがとうございました。皆様に支えられ、どうにか動画が完成いたしました。

担任の先生方へのお礼の品とアルバム贈呈は、卒園式後にホールにて行います。

最後まで心を込めて務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

私立幼稚園 PTA 連合会委員 委員長 小澤知江

P連委員を務めました小澤です。

今年度の主な活動内容として、市への公費助成の増額及び育児環境の充実を求める要望書と環境整備要望書の提出、子育てに関する講演会を実施いたしました。

11/7 の講演会は 4 年ぶりの対面開催で、講師に 3 兄弟の父である、はなわさんをお招きしました。雨の中、文化会館たづくりに 187 名の方に来場いただき、はなわさんの子育てのお話やライブ演奏、P 連のお母さんによるピアノとヴァイオリンの二重奏は大変反響がありました。また、その場で市内の 13 園分を取りまとめた要望書を調布市長へ提出することができました。これからも幼稚園同士が連携を図り、子どもたちのためのより良い環境づくりを考えていきたいと思っております。

今後とも P 連の活動にご理解、ご協力を頂ければ幸いです。

最後になりますが、先生方をはじめ保護者の皆様からあたたかいご協力を頂き、1 年間務めることができました。ありがとうございました。

会計長 小泉洋美

本年度、会計長を務めさせていただきました小泉です。令和 5 年度の会計報告をいたします。

今年度、大型備品として餅つき機の購入を検討してまいりましたが、来年度よりおもちつきの行事が廃止のため、検討を取り止めました。その他大型備品としましては、Windows10 のサポートが 2025 年 10 月に終了となるため、母部屋にて使用しているパソコンの OS アップグレードまたは購入について、来年度検討が必要と考えております。

令和 5 年度の収支の詳細につきましては、会計監査終了後に決算報告書を皆様へ配布させていただきます。各項目にお目通しいただき、ご確認いただきますようお願いいたします。

社会情勢の影響もあり項目によって値上げの影響が大きく、予算内に収めることが厳しいものがございました。今年度の実績を踏まえ、各役員、委員、幼稚園と協議を行い、来年度の予算を再考してまいります。

今度とも保護者の会へのご協力、ご理解をお願い申し上げます。

まつり長 プラダン プリヤンカ

今年度マルガリタこどもまつり長を担当したプリヤンカです。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡散以後、マルガリタこどもまつりが再開されて2年目を迎えました。

太鼓を打ちながら皆が踊る「盆踊り」、保護者の会と先生方が一緒に開催した楽しいゲームもありました。また、ダンスサークルのみなさんが手作りアクセサリやマスクなどの雑貨を販売し、絵本の会のみなさんが手作りスタンプを利用して、子供たちが自分たちのオリジナル・トートバッグを作れるワークショップも開催してくださいました。昨年までのおもちゃバザーで残っていた手作りのおもちゃの販売も行いました。

また、これまでこどもまつりの際に行ってきた制服販売の代わりに、今年度から制服を無償で提供する「制服リユース」を試験的に実施しました。こちらは、厚生班が来年度から担当を引き継ぐ予定です。

この場をお借りして、皆様のご支援とご理解、ご協力に感謝申し上げます。おかげさまで、楽しい時間を過ごすことができ、子供たちの幸せな笑顔を見ることができました。こどもまつりの担当は、皆さんのために幸せな思い出を作ることができて、とてもやりがいがあります。

来年度も子供たちの笑顔が溢れるこどもまつりを開催できるように、皆様のご協力をお願いいたします。ほんとうに、ありがとうございます。

おもちゃ長 山田陽子

今年度、おもちゃ長を務めさせていただきました山田です。

今年度は回収日が夏休み明けということもあり、たくさんのおもちゃが集まりました。おかげで、子供たちがより楽しめるようにお買い物の上限個数を5個から6個に増やすことができました。

今回、初めていちご組も参加しました。お金を正しく扱えるか心配があったため、クレジットカード方式で後日保護者の方に精算していただく形をとりました。自身で描いた絵をあしらった素敵なカードを首から下げ、おもちゃを選ぶ姿が微笑ましかったです。

また、おもちゃを作成していただく保護者や係の皆様のご負担を少しでも減らせるように以下のことを実施しました。

- ・ 見本展示で比較的簡単に作れるおもちゃの提案、作り方や手順の展示
- ・ 子供に人気のおもちゃの作成サイト QR コードを掲示
- ・ 10 円の商品には値札を貼らないことで作業量を軽減

至らなかった点は改善し、次年度につなげたいと思います。

お忙しい中、おもちゃの作成にご尽力くださった保護者の皆様、係の皆様のおかげで子供たちの笑顔あふれるおもちゃバザーとなりました。ご協力ありがとうございました。

厚生長 桐 千里

本年度、厚生長を務めさせていただきました桐です。

【廃品回収の収益】

廃品回収による収入代金(回収業者からの収入+調布市からの奨励金)は10,006円になりました。牛乳やジュース等の飲料パックの他の係と、アルミ缶や新聞・雑誌も調布市からの奨励金が付きまますので来年度も幼稚園へお持ちいただければと思います。

【ベルマークの収益】

6351円分のベルマークが集まりました。

2学期末時点のベルマーク預金残高は90241円となり協議の結果本年度はこのまま次年度へ繰り越しをさせていただくこととなりました。

※廃品回収及びベルマークの3学期分の集計とインクカートリッジ分につきましては制度の都合上、次年度の計上となります。

尚、ベルマークを入れるドラえもん袋は、エコの観点から来年度も引き続き同じものを再利用することと致します。現在、いちご組・年少組・年中組にお子様がいるご家庭は、袋を捨てずにお持ちいただくようお願い致します。

最後になりますが、保護者の皆様のご理解ご協力と、班員の方々のお力をお借りして厚生活動が滞りなく行なう事が出来ましたことに感謝申し上げます。来年度も引き続き、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

1年間ありがとうございました。

皆様からお寄せいただいたご意見について

- ・ 小さなお子さん同伴での廃品回収は、あまり活動に参加できず心苦しいとのご意見をいただきました。役員会で検討し、次年度の廃品回収は、厚生担当役員2名を中心に、必要に応じて他の役員がサポートに入ることにいたしました。係の皆様には、ベルマーク集計のお手伝いをいただければ幸いです。
- ・ 廃品回収の開催は、木曜と金曜の登降園時としておりましたが、降園時の回収はほとんど無いため、登園時のみの開催でよいのでは？とのご意見をいただきました。

他、園や役員へのお優しいメッセージありがとうございました。

絵本の会 部長 小峰

今年度、絵本の会の部長を務めました、小峰です。

絵本の会は、今年度も楽しく活動を行いました。

毎週木曜日の朝行っている読み聞かせは、9月からいちご組さんでもスタートしました。いちご組さんはとにかく可愛らしく、私達にとって癒しの時間でした。

マルガリタまつりでは、コロナ禍以降初めてとなるワークショップを開催しました。内容は、絵本のキャラクターの消しゴムはんこを押して、オリジナルバッグを作るというものです。当日は子供達の手によって、次々に素敵なバッグが作り上げられ、私達も驚いたり感心したり、楽しい時間を過ごすことができました。

1月のお誕生日会では、ペープサートで「王様の耳はロバの耳」を上演しました。今年度は部員が9名と、ペープサートの発表を行うにはギリギリの人数でした。それでも子供達には例年通り楽しんでもらいたいと思い、工夫を凝らして作り上げました。

今年度は、子供達に、劇中歌と一緒に歌ってもらった事も新しい取り組みでした。子供達の楽しそうな笑顔、元気な歌声、そして大きな拍手に、部員一同、大きな喜びと達成感を味わいました。

絵本の会が一年間このような活動を行う事ができたのは、サークル活動にご理解、ご協力下さっている皆様のお陰です。園長先生、副園長先生、教職員の方々、又、活動を見に来て下さったり、温かい応援のお言葉を下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

来年度、現時点では、部員数が3名と過去最少人数になってしまう予定です。それでも、来年度はこうしたら楽しいねという前向きなアイデアが、今からいくつも溢れています。少人数でできる事は限られてしまうかもしれませんが、絵本を通して子供達に楽しみを届けるために、絵本の会は活動を続けていきます。

ダンスサークルリズムミック 部長 加藤

本年度、ダンスサークルリズムミックの部長を務めさせていただきました、加藤です。

お誕生日会では、6月と11月の2回、子供達の前でダンスの発表することができました。今年度は一緒に踊れる小道具を作製・配布し、ダンスレクチャーを取り入れた参加型での発表にしました。子供達に見てもらっただけではなく、一緒に楽しんでもらい、みんなでダンスする事で一体感が生まれ、とても盛り上がりました。

夏祭りでは、アクセサリーやお面などを制作して雑貨屋さんを出店したり、子供達と一緒に盆踊りを踊ったり、夏らしい楽しい思い出をたくさん作る事ができました。

また、嬉しいことに朝の園庭でのダンスのリクエストもいただき、不定期ではありましたが再び1学期と3学期に開催する事ができました。

今年度は、本当にたくさん活動する機会をいただきました。イベントという目標に向かって、より良くする為の話し合いをしたり、ダンスの練習をしたり、みんなで子供達のために協力して取り組む時間は本当に温かく素晴らしい時間です。子供達の喜ぶ顔や、楽しんでくれている反応を間近で見る事ができ部員一同大きな達成感を感じる事ができました。

活動にご理解、ご協力を頂いた園長先生、先生方、温かく見守ってくださった保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

リズムミックでは「子供達に体を動かす楽しさを伝える」を目標に活動しています。来年度も、子供達と一緒に笑顔あふれる幼稚園生活になるよう活動したいと思っております。